

バンコク・ドゥシット・メディカル・サービスズ(BDMSn) 病院ネットワーク拡張が続き減価償却費の負担続く。イ ラン紛争で落ち込んだ中東からの患者数回復を見込む タイ | ヘルスケア施設 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG BDMS:TB | REUTERS BDMS.BK

- 2026/12期1Q（1-3月）は総営業収益が前年同期比0.4%増、純利益が同6.6%減。カンボジア国境紛争、中東情勢の緊迫化が響き伸び悩んだ。
- 人件費や医薬品コストの上昇に加えて病院ネットワークの拡張に伴う減価償却費の増加を受けて総営業費用比率が悪化した。
- 病院ネットワーク拡張が続き減価償却費増加が見込まれる中、イラン紛争で落ち込んだ中東からの患者数および営業収益の回復が当面の課題。

What is the news?

5/13発表の2026/12期1Q（1-3月）は、総営業収益が前年同期比0.4%増の285億THB、EBITDAが同3.0%減の70.1億THB、純利益が同6.6%減の40.58億THB。中東情勢の緊迫化に伴う中東からの患者減少、および物価高に伴う生活費の高騰を受けた国内患者数の減少が響き収益が伸び悩んだ。さらに、医者の人件費や医薬品コストの上昇に加えて病院ネットワークの拡張に伴う減価償却費の増加を受けて、営業収益に対する総営業費用比率（含む減価償却費）が1.5ポイント上昇の81.7%へ悪化した。前四半期比では、総営業収益が1.6%減、EBITDA（調整後ベース）が2.2%増、純利益（調整後ベース）が0.6%増だった。

1Qの事業別営業収益は以下の通り。①病院事業は前年同期比0.3%増の271億THB。収益構成比28%を占める外国人患者からの営業収益が1%増。国境紛争を抱えるカンボジアの78%減、および2月末以降の中東情勢の緊迫化が響いたものの、ミャンマーが42%増、米国が16%増、ドイツが15%増と堅調に推移したこともあり、増収を確保した。カンボジアと中東を除くベースの外国人患者からの収益は10%増だった。タイ人患者（収益構成比69%）からの営業収益は横ばいだった。②商品販売事業の営業収益が同2%増の10.4億THB。③その他収益が同1%増の3.7億THBだった。

How do we view this?

同社グループはタイ最大の民間医療プロバイダーとして、6つの病院グループ（バンコク病院、サミティクジ病院、BNH病院、ピヤタイ病院、パオロ病院、ロイヤル病院）の下、60の病院ネットワークを運営。2025年3月に、サミティクジ・スリナカリン病院（高度で専門的な医療技術が必要とする、バンコクの三次医療機関）と同じ敷地内にサミティクジ国際小児病院ビルをオープンした。25年5月にはチェンマイ県にバンコク病院の建物を開設しオープンした。25年7月のチョンブリ県ピヤタイ・ボウイン病院に続き、25年11月にはタイ東北部ナコンラチャシマ県に60番目の病院ネットワークであるバンコク病院（カオヤイ）をオープンした。

タイとカンボジアの国境紛争に伴うカンボジアからの患者数減少は懸念材料だが、カンボジア患者からの収益構成比は紛争前も全体の3%にとどまることから影響は限定的と考えられる。一方で、中東からの患者による営業収益は、1Qが前年同期比横ばいだったが、イラン紛争に伴う緊張激化を受けて4月は36%減収となった。4月は前月比で増収だったものの、前年比でのプラス転換には時間がかかる可能性がある。

業績推移

※参考レート 1THB=4.87円

事業年度	2023/12	2024/12	2025/12	2026/12F	2027/12F
営業収益(百万THB)	100,852	107,867	111,507	114,934	120,738
当期利益(百万THB)	14,357	15,987	15,848	16,449	17,433
EPS(THB)	0.90	1.01	1.00	1.04	1.10
PER(倍)	28.47	22.95	18.90	17.69	16.73
BPS(THB)	6.01	6.29	6.66	6.79	7.06
PBR(倍)	4.26	3.69	2.84	2.71	2.61
配当(THB)	0.70	0.70	0.75	0.81	0.83
配当利回り(%)	2.73	3.02	3.97	4.40	4.51

（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg）

配当予想(THB)	0.81	（予想はBloomberg）
終値(THB)	18.40	2026/5/26

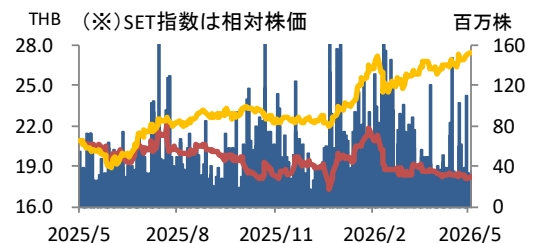
会社概要

1969年に診療所として設立。売上高、時価総額でタイ最大の民間病院運営会社。私立病院では売上高で世界トップ5に入る。タイ国内で48院、カンボジアに2院の病院を運営する。タイ国内初の民間心臓病院（バンコク心臓病院）や民間がん病院（ワタノス病院）、小児病院（サミティベート小児病院）を開設するなど、タイ医療のパイオニアである。病院ネットワークはバンコク病院、サミティベート病院、BNH病院、パヤータイ病院、パオロ病院、ロイヤル病院の6つの主要な病院グループから構成されている。

医療サービスの質に定評があり、全50病院のうち26以上の病院および臨床プログラムが、「ジョイント・コミッション・インターナショナル（JCI）」の認定を受けている。様々な分野で留学経験のある質の高い医師や看護師を揃え、国内外の患者に最新の医療技術に裏付けられた治療を提供している。

企業データ(2026/5/27)

ベータ値	0.70
時価総額(百万THB)	292,413
企業価値=EV(百万THB)	303,167
3ヵ月平均売買代金(百万THB)	1,295.0



（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

主要株主(2026/5)

1.Prasarttong-Osoth Prasert	9.18
2.STOCK EXCHANGE OF THAILAND	8.55
3.Prasarttong-Osoth Poramaporn	5.99

（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

リサーチ部

笹木 和弘
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。